

令和6年度 社会科 授業改善推進プラン

台東区立桜橋中学校

	生徒の状況及び実態を踏まえた課題	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
第1学年	・ほとんどの項目で目標値を下回っており、小学校の既習事項の多くが定着していない。特に、憲法に関する知識と歴史的事項の順序に関する問題で課題がある。 ・複数の資料をもとに考察し、文章で表現する問題の正答率が顕著に低い。	・基礎的な知識の定着 ・資料を読み取り、その内容を正確に文章で表現する力	・毎授業のはじめに授業の目標や流れを確認するなど授業の進め方を統一し、見通しをもった学習をさせる。 ・定期考査や単元の終わりなど機会をとらえて知識を問うテストをコンテスト形式で行い、学習意欲を高める。 ・グラフの読み方を基礎から確認し、練習する課題を授業内で取り扱う。
第2学年	・複数の資料をもとに考察し、文章で表現する課題に対する正答率が高い。 ・基礎的な知識技能が定着しておらず、単純な知識を問う問題につまずきがある。	・基礎的な知識の定着 ・文章で表現する力	・毎授業のはじめに授業の目標や流れを確認し、見通しをもった学習をさせる。 ・既習事項の定着を前提とせず、基礎的な知識から確認する分かりやすい授業を展開し、学習意欲を高める。 ・定期考査や長期休業などの機会をとらえて、副教材を活用させ、知識の定着を図る。
第3学年	・全体的に目標値を下回る状況があり、地理についても歴史についてももう一度基礎的な知識から振り返る必要がある。 ・思考・判断・表現、主体性に関する問題についての正答率は低くないため、基礎的な知識を補充することで大きく正答率が伸びる可能性がある。	・基礎的な知識の定着	・毎授業のはじめに授業の目標や流れを確認し、見通しをもった学習をさせる。 ・既習事項の定着を前提とせず、基礎的な知識から確認する分かりやすい授業を展開し、学習意欲を高める。 ・各授業時に、1・2年生の既習事項の振り返りを意識し、確認する時間を設定する。